

# 令和4年度 小平市立上水中学校 学校評価計画表

<b>学校教育目標</b> <span style="float: right; margin-left: 20px;">○自ら考え、進んで実行する人</span> <span style="float: right; margin-left: 20px;">○心豊かで思いやりのある人</span> <span style="float: right; margin-left: 20px;">○心身ともにたくましい人</span>					
<b>目指す学校像(ビジョン)</b>					
【目指す学校像】		「和」を基盤とした教育活動を展開する学校			
【目指す児童・生徒像】		①「和」人間的な心の調和のとれた生徒 ②「和み」心穏やかに、楽しく学校に通い、自ら進んで学ぶ、心身ともに健康でたくましい生徒			
【目指す教員像】		①「和」人権感覚が豊かな教師 ②「和み」カウンセリングマインドで生徒と向き合える教師 ③「和(環)」PDCAサイクルを生かした授業改善で学力向上、体力向上を目指す教師 ④「和(輪)」保護者、地域との密接な連携による教育活動を目指す教師			
<b>前年度までの学校経営上の成果と課題</b>					
・生徒は授業規律を守り、落ち着いた環境で学習に取り組むことができている。本時の目標と振り返りを提示し、さらに教材研究を深め、常にPDCAサイクルを生かした授業改善に努める。 ・家庭学習時間はある程度確保されているが、二極化する傾向がある。また、自ら計画して学習に取り組むことができる力も十分には付いていない。取り組む意欲も含め、向上をさせることが課題である。 ・「上級生が手本となる」気運が学校全体で受け継がれているが、通常の学校生活に戻る中で折に触れ「見て学ぶ。示して学ぶ。」意識を強くもたせる指導をしていく必要がある。また、互いを認め合い、居場所のある温かな学級づくりを目指し、三者面談やカウンセリングマインドの手法を取り入れた生徒と教員の関係を一層深めることも課題である。 ・教職員は、意欲的に働いているが、スクラップ&ビルドの視点が弱いため、業務改善に結びつかない。					
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標
学力向上	生徒に確かな学力を身に付けさせる。	主体的・対話的で深い学びができるよう、生徒の学ぶ意欲を引き出し、分かりやすい授業を実践する。	・本時の目標と振り返りの提示 ・教員の説明を減らし、端的な指示により生徒に考えさせたり、表現させたりする時間の確保と設定  ・放課後の補充学習や再テスト実施による基礎・基本の定着 ・家庭での学習方法の例示、復習課題の明示 ・夏期学習教室等の充実	4 全教員が短期経営目標を実施	4 授業のねらいを達成できたと回答した生徒80%以上(全教科平均)
				3 実施率80%以上	3 授業のねらいを達成できたと回答した生徒70%以上(全教科平均)
				2 実施率60%以上	2 授業のねらいを達成できたと回答した生徒60%以上(全教科平均)
				1 実施率60%未満	1 授業のねらいを達成できたと回答した生徒60%未満(全教科平均)
				4 全教員が短期経営目標を実施	4 家庭で自主的に学ぶ時間を設けている生徒90%以上
				3 実施率80%以上	3 家庭で自主的に学ぶ時間を設けている生徒70%以上
				2 実施率60%以上	2 家庭で自主的に学ぶ時間を設けている生徒60%以上
				1 実施率60%未満	1 家庭で自主的に学ぶ時間を設けている生徒60%未満
(いじめ防止)健全育成	生徒一人一人の充実感と自己肯定感を高める。	様々な学校・学年行事等に生徒が主体的に取り組む。また、当番活動や自主的な活動の適切な評価をする。	・生徒のアイデアを生かした学級・学年における取組 ・生徒が活躍する場面の意図的な設定とプラス評価	4 全教員が短期経営目標を実施	4 行事、委員会活動等に主体的に取り組んだと回答した生徒80%以上
				3 実施率80%以上	3 行事、委員会活動等に主体的に取り組んだと回答した生徒70%以上
				2 実施率60%以上	2 行事、委員会活動等に主体的に取り組んだと回答した生徒60%以上
				1 実施率60%未満	1 行事、委員会活動等に主体的に取り組んだと回答した生徒60%未満
	いじめ防止の取組として、互いに認め合える豊かな心を育てる。	いじめの未然防止、早期発見、早期対応を徹底する。	・いじめ調査の実施、デイリーライフ等の活用による実態の把握 ・毎週の学年会・生活指導部会による実態に基づいた組織的対応の検討と実施	4 全教員が短期経営目標を実施	4 生徒の満足度90%以上
				3 実施率80%以上	3 生徒の満足度80%以上90%未満
				2 実施率60%以上	2 生徒の満足度70%以上80%未満
				1 実施率60%未満	1 生徒の満足度70%未満
業務改善・働き方改	勤務時間管理と健康管理を意識した働き方を推進する。	勤務時間の管理を徹底する。	・週当たりの在校時間60時間以内	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 教職員の達成率が90%以上
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 教職員の達成率が80%以上90%未満
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 教職員の達成率が70%以上80%未満
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の達成率が70%未満
	業務改善について教職員の意識改革を図る。	業務改善について教職員の意識改革を図る。	・会議の精査や学校行事の精選、ライフワークバランスなどについての自己申告書への具体的な目標提示と取組	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	4 教職員の90%以上が達成
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上90%未満	3 教職員の達成率が80%以上90%未満
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上80%未満	2 教職員の達成率が70%以上80%未満
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の達成率が70%未満
特色ある活動	全生徒が、学習者用端末を授業内で有効に活用できる。	学習者用端末を活用した授業の充実を図る。	・研究推進校の研究主題に則した校内研修の取組の積極的な実践、検証	4 教職員の取組評価で、肯定的な回答が90%以上	4 PC末端活用の効果を実感したと回答した生徒90%以上
				3 教職員の取組評価で、肯定的な回答が80%以上90%未満	3 PC末端活用の効果を実感したと回答した生徒80%以上
				2 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%以上80%未満	2 PC末端活用の効果を実感したと回答した生徒70%以上
				1 教職員の取組評価で、肯定的な回答が70%未満	1 PC末端活用の効果を実感したと回答した生徒70%未満
	小中連携教育の充実を図る。	「小・中連携の日」の事前準備をさらに丁寧に実施し、今年度の柱である「特別支援教育」の共通実践及び、ICTの活用における連携を図る。	・多様な生徒が、学びやすい学校環境の整備 ・合理的配慮をした授業の工夫 ・小学校と連携したICTの活用	4 全教員が短期経営目標を実施	4 授業が分かりやすいと回答した生徒80%以上(全教科平均)
				3 実施率80%以上	3 授業が分かりやすいと回答した生徒70%以上(全教科平均)
				2 実施率60%以上	2 授業が分かりやすいと回答した生徒60%以上(全教科平均)
				1 実施率60%未満	1 授業が分かりやすいと回答した生徒60%未満(全教科平均)